

2015年3月

EBサービスの会計情報サービスをご利用のお客さま各位

株式会社りそな銀行
株式会社埼玉りそな銀行

グループ内振込 24 時間化に伴う EB サービスの会計情報サービスの留意点について

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ご案内の通り、弊社では 2015 年 4 月 6 日より、個人のお客さま向けのサービスについてりそなグループ本支店宛振込の 24 時間化を実施します。これにともない、お客さまの口座にも 24 時間・365 日振込入金が可能となることから、ご留意いただきたいことをご案内いたします。

ご不明な点がございましたら、お取引店または EB テレホンセンターまでご照会ください。

引き続きお客さまの利便性向上のためのサービス改善を進めてまいりますので、今後ともりそな銀行・埼玉りそな銀行をご愛顧くださいますようお願いいたします。

記

1. 休日の口座残高の確認について

- ・土日祝日など休日に振込入金があった場合、貴社の口座残高に即時反映されます。このため残高証明書等で休日を指定された場合、休日の振込入金を含んだ最終残高を表示いたします。
- ・なお、休日の最終残高については、アンサーサービス（アンサーSPC、ホームバンキング VALUX 等）、または通帳等での確認をお願いいたします。

2. 全銀フォーマットの「勘定日」「預入・払出日」について

- ・土日祝日など休日に振込入金があった場合、EBサービスの会計情報サービスで取得いただいている入出金明細・振込入金明細のデータレコード内にある「勘定日」「預入・払出日」は、下記の通りセットされます（詳細は別紙をご参照ください）。

勘定日 : 実際に振込入金があった日の直後の銀行営業日付

預入・払出日、起算日 : 実際に振込入金のあった日付

例) 2015 年 4 月 11 日（土）に振込入金があった場合、「勘定日」は 2015 年 4 月 13 日（月）、「預入・払出日」は 2015 年 4 月 11 日（土）がセットされます。

- ・貴社システム部門などと連携の上、あらかじめ影響の有無等ご確認をお願いいたします。
- ・2015 年秋には法人向け EB サービスについてもりそなグループ本支店宛振込の 24 時間化を実施予定ですが、その際、上記「勘定日」についても、実際に振込入金のあった日がセットされる仕様に変更することを予定しております。

以上

EB テレホンセンター : 0120-062-689

【受付時間】 平日 8:30～21:00、土日 9:00～17:00 ※12/31～1/3、5/3～5/5、祝日・振替休日を除く

※本お知らせは 2015 年 1 月末時点で EB サービスの会計情報サービスをご利用いただいているお客さまに送付しています。
なお、本状と行き違いで既にご解約されている場合には、誠に申し訳ございませんがご容赦ください。

振込入金通知（フォーマットA）

【別紙】

(注) N-右詰前「0」

(注) C-左詰残り「スペース」

ヘッダー・レコード

項番	項目名	桁数	内 容
1	データ区分	N(1)	「1」-ヘッダー・レコード
2	種別コード	N(2)	「01」-振込入金通知
3	コード区分	N(1)	「0」-JIS
4	作成日	N(6)	YYMMDD (和暦)
5	勘定日 (自)	N(6)	YYMMDD (和暦)
6	勘定日 (至)	N(6)	YYMMDD (和暦)
7	銀行コード	N(4)	統一金融機関番号
8	銀行名	C(15)	「リナ」
9	支店コード	N(3)	統一店番号
10	支店名	C(15)	取引店名
11	預金種目	N(1)	「1」-普通預金 「2」-当座預金
12	口座番号	N(7)	
13	口座名	C(40)	口座名義
14	ダミー	C(93)	スペース
	計	200	

データ・レコード

項番	項目名	桁数	内 容
1	データ区分	N(1)	「2」-データ・レコード
2	※照会番号	N(6)	銀行が採番した照会用番号
3	勘定日	N(6)	YYMMDD (和暦) ※休日付の取引でも翌営業日日付がセットされる
4	起算日	N(6)	YYMMDD (和暦) ※休日付の取引の場合、休日の日付がセットされる 通常は勘定日と同日であるがその場合には勘定日と同一年月日を記入する
5	金額	N(10)	
6	うち他店券金額	N(10)	入金額中の他店券金額
7	※振込依頼人コード	N(10)	仕向銀行からの為替通知に記載された振込依頼人の識別コード
8	振込依頼人名	C(48)	
9	※仕向銀行名	C(15)	
10	※仕向店名	C(15)	
11	※取消区分	N(1)	振込入金通知を取り消す場合に使用。「1」-取消
12	※EDI情報	C(20)	仕向銀行からの為替通知に記載されたEDI情報
13	ダミー	C(52)	スペース
	計	200	

トレーラ・レコード

項番	項目名	桁数	内 容
1	データ区分	N(1)	「8」-トレーラ・レコード
2	振込合計件数	N(6)	
3	振込合計金額	N(12)	
4	※取消合計件数	N(6)	
5	※取消合計金額	N(12)	
6	ダミー	C(163)	スペース
	計	200	

エンド・レコード

項番	項目名	桁数	内 容
1	データ区分	N(1)	「9」-エンド・レコード
2	ダミー	C(199)	スペース
	計	200	

入出金取引明細

【別紙】

(注) N-右詰前「0」

(注) C-左詰残り「スペース」

ヘッダー・レコード

項番	項目名	桁数	内 容
1	データ区分	N(1)	「1」-ヘッダー・レコード
2	種別コード	N(2)	「03」-入出金明細
3	コード区分	N(1)	「0」-JIS
4	作成日	N(6)	YYMMDD (和暦)
5	勘定日 (自)	N(6)	YYMMDD (和暦)
6	勘定日 (至)	N(6)	YYMMDD (和暦)
7	銀行コード	N(4)	統一金融機関番号
8	銀行名	C(15)	「リナ」
9	支店コード	N(3)	統一店番号
10	支店名	C(15)	取引店名
11	ダミー	N(3)	全て「0」とする
12	預金種目	N(1)	「1」-普通預金 「2」-当座預金
13	口座番号	N(10)	
14	口座名	C(40)	口座名義
15	※貸越区分	N(1)	「1」-プラス 「2」-マイナス
16	※通帳・証書区分	N(1)	「1」-通帳 「2」-証書
17	※取引前残高	N(14)	
18	ダミー	C(71)	スペース
	計	200	

データ・レコード (普通預金・当座預金)

項番	項目名	桁数	内 容
1	データ区分	N(1)	「2」-データ・レコード
2	※照会番号	N(8)	銀行が採番した照会用番号
3	勘定日	N(6)	YYMMDD (和暦) ※休日付の取引でも翌営業日日付がセットされる
4	預入・払出日	N(6)	YYMMDD (和暦) ※休日付の取引の場合、休日の日付がセットされる 通常は勘定日と同日であるがその場合には勘定日と同一年月日を記入する
5	入払区分 (注)	N(1)	「1」-入金 「2」-出金
6	※取引区分	N(2)	「13」交換 (取立入金及び交換払) 「14」-振替
7	取引金額	N(12)	
8	うち他店券金額	N(12)	取引金額中の他店券金額
9	※交換呈示日	N(6)	YYMMDD (和暦)
10	※不渡返還日	N(6)	YYMMDD (和暦)
11	※手形・小切手区分	N(1)	「1」-小切手 「2」-約束手形 「3」-為替手形
12	※手形・小切手番号	N(7)	
13	※僚店番号	N(3)	取引のあった店を表す (統一店番号)
14	※振込依頼人コード	N(10)	仕向銀行からの為替通知に記載された振込依頼人の識別コード
15	振込依頼人名または	C(48)	【入払区分が「1」 (入金の場合) -振込依頼人名
16	※契約者番号	C(15)	【入払区分が「2」 (出金の場合) -預金口座振替の契約者番号
17	※仕向銀行名	C(15)	
18	※仕向店名	C(15)	
19	※摘要内容	C(20)	
19	※EDI情報	C(20)	仕向銀行からの為替通知に記載されたEDI情報
20	ダミー	C(1)	スペース
	計	200	

(注) 取引区分の訂正「19」を使用する場合には、入払区分を入金訂正は出金「2」、出金訂正は入金「1」とする。

入出金取引明細

【別紙】

トレーラ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	「8」-トレーラ・レコード
2	入金件数	N(6)	
3	入金額合計	N(13)	
4	出金件数	N(6)	
5	出金額合計	N(13)	
6	※貸越区分	N(1)	「1」-プラス 「2」-マイナス
7	※取引後残高	N(14)	
8	データ・レコード件数	N(7)	データ・レコードの総件数を表す
9	ダミ	C(139)	スペース
	計	200	

エンド・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	「9」-エンド・レコード
2	レコード総件数	N(10)	
3	口座数	N(5)	
4	ダミ	C(184)	スペース
	計	200	